

特別活動(小学校)

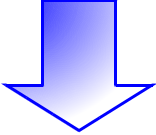
特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連はどうなっているか。

特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の各内容から構成されている。これらの内容は、それぞれ独自の目標と内容をもつ教育活動であるが、最終的には特別活動の目標を目指して行われるものである。したがって、次に示したように特別活動の目標と各活動・学校行事の目標には密接な関係があることについて理解するとともに、十分考慮し、関連を図って計画し、指導することが大切である。

特別活動の目標と各活動・学校行事の目標

【特別活動の目標】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。



学級活動	<u>学級活動を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、 <u>集団の一員として</u> 学級や学校におけるよりよい生活づくりに <u>参画し</u> 、諸問題を解決しようとする <u>自主的、実践的な態度</u> や健全な生活態度を育てる。
児童会活動	<u>児童会活動を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、 <u>集団の一員として</u> よりよい学校生活づくりに <u>参画し</u> 、協力して諸問題を解決しようとする <u>自主的、実践的な態度</u> を育てる。
クラブ活動	<u>クラブ活動を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、個性の伸長を図り、 <u>集団の一員として</u> 協力してよりよいクラブづくりに <u>参画し</u> しようとする <u>自主的、実践的な態度</u> を育てる。
学校行事	<u>学校行事を通して</u> 、 <u>望ましい人間関係を形成し</u> 、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする <u>自主的、実践的な態度</u> を育てる。

- 特に、特別活動の中心的な目標と示している「自主的、実践的な態度」については、各活動・学校行事の目標のすべてに示した。これは、各活動・学校行事の目標に示した「人間関係の形成」や「生活づくりへの参画」などが、児童の自主的、実践的な態度として育成されるようにすることを示したものである。
- 特別活動の目標で示している「望ましい集団活動を通して」については、特に各活動・学校行事の目標に示してはいないが、特別活動のすべての内容に共通する方法原理であることから、例えば「学級活動を通して」を「学級活動における望ましい集団活動を通して」ととらえて指導に当たる必要がある。
- 特別活動の目標に示した「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力」についても、特別活動の全ての内容に係るものととらえて、各内容の特質に即して指導する必要がある。
- 目標に新たに加えた「人間関係」については、各活動・学校行事の目標に「望ましい人間関係を形成し」を共通に示したことを踏まえ、各活動・学校行事の特質に即して指導するとともに、特別活動全体として児童一人一人に望ましい人間関係を築く態度が形成されるようにする必要がある。
- 目標の「集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」を受けて、児童の自発的、自治的な活動を特質とする学級活動、児童会活動、クラブ活動において、「集団の一員として」と「参画し」を共通に示した。